

京都路地入

kyoto logie

自然食品の店
養老
TEL 462-0187

丸四宗敬織物屋





千本釈迦堂で、毎年陶器市と陶器供養をやっています。
この日はまだ梅雨はまだ明けていません。
なんでここで陶器市なん？というのによく知りません。
この時点でもう、結構暑いです。



路地のまだ奥の奥です。
こののぼり旗の色使いは、ちょっとわかりません。
なんなん、これ。



一瞬どこかのキャンプ場かと思いましたが。

東寺は大寺院なので、弘法市はなんとかモール
顔負けの広さなんです、ここはぐるっと廻る
だけなら10分もかからないぐらいの広さです。

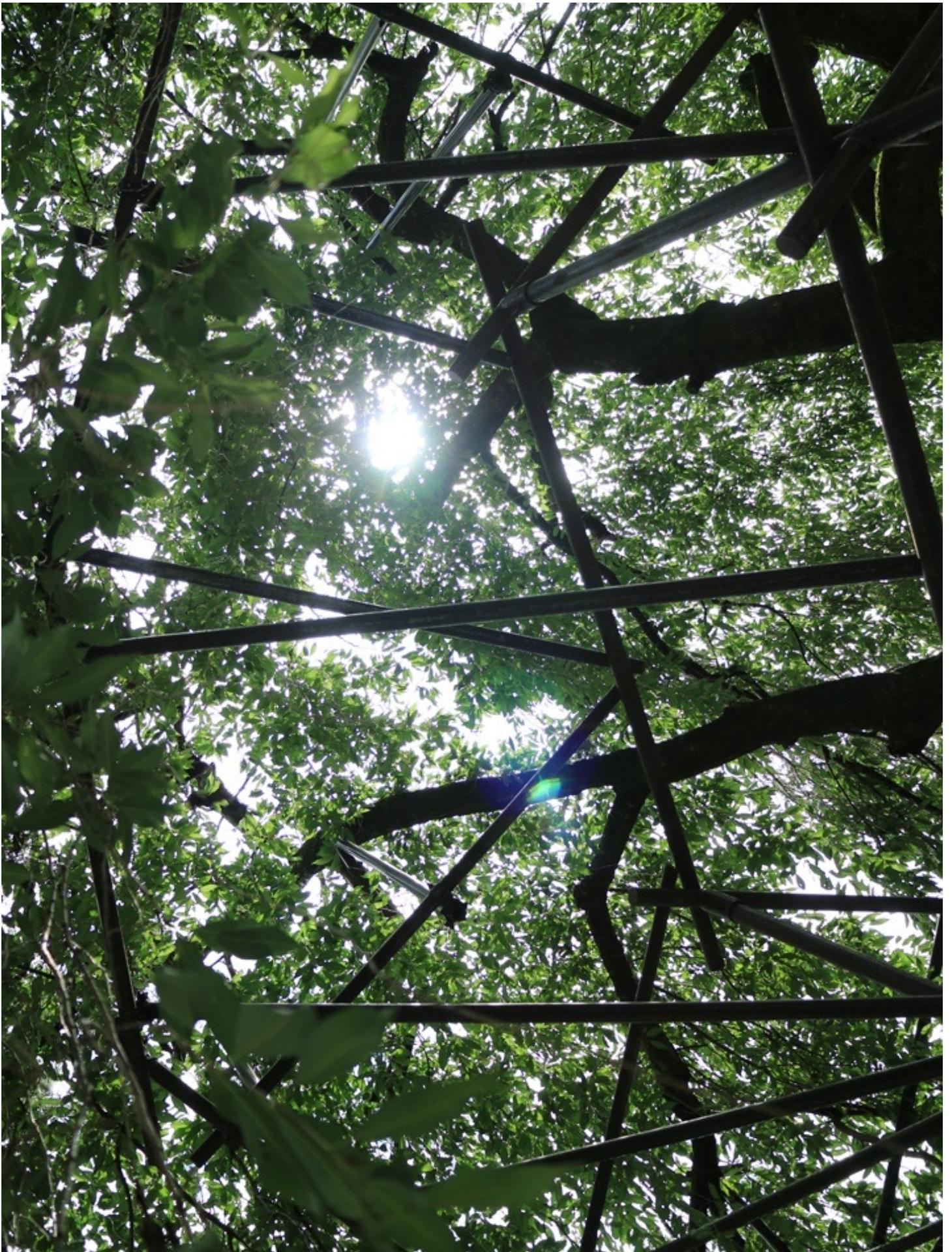


土と炎の芸術、備前焼ですね。左奥のようにわりとぽってりとした形が多いと思うのですが、右手前の花入は現代風と言うか、こう言うのにも流行があるんやなあ。



ぐい呑500円。お店やってる方がまとめて10個
とか買って行きはりそうです。
お酒入るとだんだん風合いが変わってくる。
”育てる”というらしいですが、お酒飲めないんで。





大きなしだれ桜。シャツが汗でじっとりしてきました。



みためちょっと怖そうですけど、気さくなおじさんです。
一条のどこやったかな、そのあたりで作陶しておられるそうで。
中段のマグカップが一つなくなって入るのは、私が購入したからです。
ちょっと黒系の金属光沢のあるマグがあれば買おうかなとは思っていたんですが、安いのでつい買ってしまいました。



買い物をすると、あすなろの木で作られた菜箸の交換券がもらえます。その交換場所なんですがめっちゃ笑顔の可愛いおじさんが店番してはりました。軽くて使いやすいです。



陶器市なのですが、ガラス細工なんかもあります。
これ涼しげでいいな。あまり他ではみないのもいい。
ナスの胴体とヘタの部分は別々に作って接合してある

そうで、彦根からいらっしゃっているとか。
他にも、出雲の方から出店されている方もおられました。



こちらは河内風鈴。へえー知らなかったなあ。



松葉は元気ですが暑いです。そろそろ退散しようかな。



うーん、これ悩みました。形がええんやなあ。
でもなあ、値段がなあ。
もう二つ買ってしもうたし、その二つの合計超
えてるし。無くて困らんもんやからなあ。



あれもこれも言い出したら、切りないからなあ。



こっちは黄瀬戸かな。趣味ではないのでパス。
長居するとまた余計なものを買ってしまいそう
なので、本当に帰ることにしました。



あ、入ってきた時に、ちょっといいなあと思ってたのやけれど
他のも見てからにしようと思ってパスした。

むむむ、、、、。



お昼頃になって、お客さんが増えてきました。
例によって、例のごとく退散退散。



どういわけだか、極悪非道にもこの一番暑い時に開催されるのが五条坂の陶器市です。
京都の夏はただでさえ暑いのに、よくこれで死人が出ないなど。今年は昨日の初日、台風でした！



ケースに肥前と書いてあるから、唐津あたりかな。
その他にも美濃焼とか瀬戸とか、他県からも来てはるようです。
産地で催される陶器祭りとは、その辺りがちょっと違う気がします。

まだ、並べ中のようなのですが、3個で1,080円強調してますね。税込値段かな。料理屋さんのまとめ買いにいい気がします。

決して安物ではないですが、趣味で楽しむ焼き物では無い、量産品の器です。普通に買ったら五百円ぐらいかな？





美濃焼かなあ。織部っぽい。





早速お買い上げのようです。私はぐるっと一回りしてから
考えようかな。買うんじゃなくて、あくまで考える。
織部の色はだめなんですよー。



桐の下駄もある。浴衣の季節やからなあ。



こういう訳あり品の中から掘り出すのが市の醍醐味。
訳ありと言っても、焼いたらぽつと点が出て来たとかで、商品棚には並べらんけど、それを承知で使うのなら、なんの問題もないというのなので、私にとっても問題なし。なんだけど、食器棚に入りきらずに箱を積み上げている現状を鑑みると、泣いて素通りするしかない。

ああ、あの茶色の平皿が呼んで入る、、、気がする。



えー、この合板の組み立て棚に何気に陳列されて入る茶碗はなんと25万円。

まあ、これええなと思って値札を見ると、2万円とかよくあることなんですけど、さすがに20万とか30万を、この露店で売る人の感覚がよくわかりません。

織部やなあ、、、どうも好かんなあ。



今日は買うんやったら、こういう小物を買おうと
思って来たんですよー。箸置きかあ、箸置きも
結構あるなあ。そのわりには使ってないなあ。
陶器市やのうても他の手づくり市でもよく見るし。
でも、可愛いなあ。



陶器市は五条坂の歩道に露店が立ち並んでいるんですが、もともと北側は焼き物のお店が並んでいて、そこもセールをやってはります。

これは、その並びの1軒なんですが、貸しスペースになるのでしょうか。作家さんが作品を並べておられました。

高麗茶碗か。高いぞこれは。

最上段中央の黒茶碗、いいです。黒茶碗一つ欲しい。

”くろちゃん”と呼んで、可愛がってあげたい。





強く降って来た。台風の名残かな。お茶碗にも雨水が溜まっていました。

”大変ですね”と声をかけられた店主が、”こんなんよくありますよ”と返していました。

そんなもんやろな、と見てる私も気が楽になりました。水の溜まった茶碗にも、風情が感じられました。



なんだか昔の窯跡を掘り返して出て来た陶片のような豆皿です。こういうのを作ってみようという陶工の心持ちに惹かれるところがある。技巧を凝らすより、形と薬を決めたら土と火と釜に託す、みたいなところ。

しまった、これ買えばよかった。





降ったり止んだり。でも、みなさん楽しそう。



ここのおじさんが私の前に会計した人とのやりとり。
4枚の各種お皿を新聞に包んで、ビニール袋に入れて、
「ええと、いくらやったか値段見てなかったわ。」
まじか！
「一つ目のがxxx円で二つ目のがxxx円で、、、。」
「うん。計算でけへん。ちょっと待って。」
と電卓を探す。
お客さん、もう一回値段を伝えるがその手には3100円
が握られていて、、、
「3100円。」 もうその百円負けたりーや。
ちなみに下の木箱に入ってるB級品は、とんでもなく安
いですが、数が揃いません。



ここの白磁・青磁も綺麗でした。子供の頃は備前のような土っぽいものが好きだったんですが、大人になってからこういう系統も好きになりました。お気に入りが二つあるので、これ以上は増やしません。



千本釈迦堂で買ったマグカップ。朝のコーヒーと紅茶専用。
豆はUnirさんのスペシャルティコーヒー。
最近、ようやくステンレスフィルターを使い始めました。



五条坂で買った塗り椀。特に値引き品ではなかったけれど。なかなかいいデザインのものに巡り会えずにいたのだけれど、これは一眼見てピンときた。天然木、天然漆でこの値段はあまりないなあ。



千本釈迦堂で買い求めたナス
涼しげでいい。でもなんでナスなんだろう。



五条坂で買った皿。少し縁をいびつに曲げてある。
そこが味というものかな。
西洋の食器だと、そういうのは許されないだろう。
一応ケーキ用の皿なのだけど、ケーキは常備してない
ので。



千本釈迦堂で、帰る間際に買った飯碗。
これでご飯を食べたら美味しかった。
一足先に秋の風景だな。

真下魚名既刊

[passer un après-midi 15](#)

[京都路地入 宵々々山](#)

[カメラ散歩 夏待ち](#)

[Trabelogue ep.14 La Collina](#)

[京都路地入-Kyotologie- 旅の音](#)

[Trabelogue ep.13 東京](#)

[春の野を行く](#)

[Trabelogue ep.12 桜咲くみち](#)

[京都路地入-Kyotologie- 学校の桜](#)

[passer un après-midi 14](#)

[コトノコト II](#)

[コトノコト](#)

[京都路地入-Kyoutologie- 雪 嵐山](#)

[Essai](#)

[からくれないに V](#)

[からくれないに IV](#)

[からくれないに III](#)

[からくれないに ni](#)

[からくれないに](#)

[林檎の樹の下で](#)

[Travelogue ep.11 青い森の国へ](#)

[晩夏を探して II](#)

[京都路地入-Kyotologie- 八朔](#)

[京都路地入 -Kyotologie - 前祭](#)

[Flower Garden III Hydrangea](#)

[Flower Garden III](#)

[お散歩カメラ](#)

[京都路地入-Kyotologie- 軒の下ガーデン](#)

[Travelogue ep.10 ランチに間に合えば](#)

[たそ彼時まで](#)

[京都路地入-Kyotologie- 鴨川](#)

[passer un après-midi 13](#)

[梅催い、晴れ](#)

[京都路地入-Kyotologie- 二条通](#)

[passer un après-midi 12](#)

[京都路地入-kyotologie- えべっさん](#)

[京都路地入-kyotologie- 京都駅0番線](#)

[le temps](#)

[京都路地入-kyotologie- 御所一般公開](#)

[Travelogue ep.9 ここのPizzaは出前を頼めない](#)

[京都洛以外-Kyoto Lucky guy 2](#)

[Travelogue ep.8 タルトまで60km](#)

[京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)

[Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)

[passer un après-midi 11午後の過ごし方](#)

[京都路地入-kyotologie 祇園祭 後編](#)

[京都路地入-kyotologie 祇園祭](#)

[京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)

[京都路地入-kyotologie 一保堂](#)

[京都路地入-kyotologie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotologie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotologie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotologie 一条通](#)

[桜守りの庭](#)

[後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10 午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙 2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[iliminaria 2](#)

[iliminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochrome](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ —

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のエリア」](#)

[「黄金の麦畑」 1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

[3.Adajo](#)

[「黄昏の王国」](#)

[イーリアス編](#)

[アリシア編](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo「Hina」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「bleu, jaune, vermillon」](#)

[Photo「H.45」](#)

[Photo「Fly me to Paris I～XIV」](#)

[Photo「祇王 こけのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンズ あのころの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)

[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)